

平成30年度

# 宗谷シーニックバイウェイ 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ		報告者:宗谷シーニックバイウェイ代表 中場 直見		報告年月:2019/3/31			
ルート(エリア)運営活動計画方針(H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	H30					
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
景観	宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用	①宗谷らしい景観や環境が体感できるポイントの創出と磨き上げ	-	-	-	-	
		②地場産業との連携による景観・環境の保全					
		③景観を美しくみせ、環境を守る清掃活動	クリーンキャンペーン りしり	【主催】利尻建設協会・運輸協会利尻トラック部会 【協賛】利尻町・利尻町観光協会・利尻島ロータリークラブ・稚内建設管理部利尻出張所	H30.5.18	約80名	
		④景観や環境を保全するルールづくり					
		⑤フェリー乗り場での泥落とし等外来種混入防止と駆除活動					
		⑥一般国道40号稚内市の花植活動への協力	てっぺん「はなくらぶ」	H30.6.29	約100名	SY - 4	
	住む人と来る人(交流人口)の幸せを共感できる環境づくり	③おもてなしを演出する春・夏・秋の季節に応じた植栽活動	-	-	-	-	
		④アイスキャンドルやスノーキャンドルによる冬の色彩の演出	-	-	-	-	
		⑤流木を活用したプランターづくり					
		景観・環境に関わる活動 方針①宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用へ	-	-	-	-	
情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化へ							
景観・環境に関わる活動 方針③次世代が安心して豊かな生活がおくれる地域づくりへ							
環境	①住民と観光客が双方プラスになる宗谷エコレージなどのプログラムの推進	礼文島リボンプロジェクト	礼文島観光協会	通年	-		
		利尻山コマドリプロジェクト	利尻山登山道等維持管理連絡協議会	通年	-		
		景観・環境に関わる活動 方針①宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用へ					
	②CO2を削減するシーニックの森等の植栽活動の推進						
	景観・環境に関わる活動 方針①宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用へ						
次世代が安心して豊かな生活を送れる地域づくり	①宗谷の素晴らしさに対する認識向上及び啓発のための勉強会の開催	-	-	-	-		
	②地域の将来を担う子供たちへの教育活動						
	③地域コミュニケーション形成のため、ボランティアの育成						

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ		報告者:宗谷シーニックバイウェイ代表 中場 直見		報告年月:2019/3/31				
情報	ルート(エリア)運営活動計画方針(H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	H30					
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
情報	特異な地理条件(利尻・礼文)を克服する情報発信	①観光案内所及び情報ボランティア等コミュニケーションによる情報提供	-	-	-	-		
		情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化へ						
		⑤宗谷らしいシンボリックなデザインの提案						
		④ルート及び情報発信場所における看板等の設置						
		②既存ツール(ネットやSNS)及び紙媒体(ポスター等)を活用した情報発信の充実						
		情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化へ	-	-	-	-		
		③オンリーワンな情報発信内容・方法の提案						
観光	宗谷の魅力(底力)を磨き上げ十分に提供できるおもてなしの育成	①空港やフェリーターミナルなどの宗谷の玄関口におけるおもてなしの演出						
		②宗谷らしさが体感できる参加型・体験型のメニューづくり	最北フラワーマラソン大会	最北フラワーマラソン大会実行委員会	H30.6.2	約300名		
			-	-	-	-		
		④景観や環境が体感できるポイントの活用とルートづくり						
		③物産等の地域限定商品の発掘及び供給システムづくり						
			-	-	-	-		
⑤フットバスやサイクリングなど新たなツーリズム創出	道北版スイス・モビリティ関連事業「TEPPEN-RIDE2018の実施」	天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議・宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	H30.9.22~25	約20名	SY - 11			
	道北版スイス・モビリティ関連事業「利尻島での自転車・バスの周遊観光実験」	宗谷バス(株)	H30.4.21~10.31	40台回	SY - 1			
	-	-	-	-				

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ		報告者:宗谷シーニックバイウェイ代表 中場 直見						報告年月:2019/3/31
ルート(エリア)運営活動計画方針(H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	H30						
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
観光	宗谷の魅力(底力)を磨き上げ十分に提供できるおもてなしの育成	⑤フットバスやサイクリングなど新たなツーリズム創出	-	-	-	-		
		-	-	-	-			
		-	-	-	-			
		-	-	-	-			
		宗谷の歴史文化資源の魅力を掘り起こす勉強会	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・北海道大学アイヌ・先住民研究センター	H30.8.3	約30名	SY - 6		
		北海道のサイクルツーリズム推進フォーラムの登壇	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	H30.5.29	約200名	SY - 3		
		スイス・モビリティ財団ルーカス理事の視察受入	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	2018/8/18~19		SY - 7		
		サイクリング・フォー・チャリティーの現地受入	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	2018/7/28~30	約20名	SY - 8		
		利尻一周ふれあいサイクリングにおける石田・宮内先生の視察受入	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	H30.8.25~27		SY - 9		
		利尻島ファミリーサイクリング モニターの協力	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	H30.9.16	約15名	SY - 7		
		R3モニターツアー	天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議・宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	H30.9.22~25	約15名	SY - 12		
				H30.8.25~30				
		⑦外国人観光及び教育・体験旅行の誘致	広域観光周遊ルート・エコモビリティ事業への協力等	北海道運輸局・北海道観光振興機構 等(事業主体)	H29.10.18~10.22(夏季)H30.3.2~3.6(冬季)	約5名ずつ誘致	SY - 6	
情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化	①分科会活動及び団体活動の情報共有・連絡のための静テムづくり	「しゃべり場」(観光案内所編・宿泊施設編)の開催	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	H30.11.18	約15名ずつ	SY - 13		
	-	-	-	-				
	②地域の課題を共有し解決策などを考える勉強会やシンポジウムの開催	-	-	-	-			
	-	-	-	-				
	-	-	-	-				
③地域の将来を担う子供たちへの教育活動を通じた地域づくり	-	-	-	-				
		WAKKANAI みなどコンサート	稚内のみなどを考える女性ネットワーク	H30.7.14	個人・団体あわせ12団体			
		かまくらで遊ぼう	稚内のみなどを考える女性ネットワーク	H31.2.1				

# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：利尻島での自転車・バスの周遊観光実験（継続）

【概要】 絶景と約25kmにも渡るサイクリングロードを有する利尻島を、サイクリング適地と位置づけ、ライト層であっても気軽に利尻島約60kmを1周できる仕組みづくりを行う。平成29年度の実証実験を経て、今年度本格的にサービスが開始した。

【実施期間】 平成30年4月21日～10月31日（194日間）

【自転車積載回数】：40台回 ※H29実績12台回（平成29年8月1日～10月31日）

内訳：日本人29名、日本人以外11名

内訳：シティ24台日、ロード4台日、MTB12台日

事前予約有無：予約有り8台回、予約なし32台回 ※期間中の車椅子積載4回

## 《宗谷バスが挙げる課題》

### ●オペレーションや手順の説明

- ✓ 無予約のお客様の対応で、積込ルールや破損の自己責任などその場の説明が難しく、さらにいすの折りたたみから固定に手を貸す必要があり時間がかかる。
- ✓ 外国人利用はすべて予約無しでの利用となり、乗務員が現場で説明に苦労する。

### ●説明責任やトラブルへの危惧

- ✓ 積載時の破損、トラブル発生時の責任の所在などについて、積載前での説明が難しい。

### ●問い合わせ

- ✓ 宗谷バスで自転車も貸してもらえるのか？  
→ 駕泊雪国レンタサイクルを案内、または宿泊ホテルに確認してもらう。



車内で掲示されている利用案内



自転車を固定している様子

# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北ルート連携フォトコンテストの開催（継続）

【概要】大雪・富良野ルート、萌える天北オロロンルートとのルートを跨いだフォトコンテスト。今年度で天塩川ルートも加入した。5年目の開催。学生部門も新設された。

【応募期間】平成30年7月2日～9月14日

【主催】道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会（平成30年度から宗谷ルートに事務局移管）



平成30年度宗谷ルート賞  
『祝・夜景遺産登録』



平成30年度入選

4ルート持ち回りで過去の受賞作品のパネル展も実施

7月上旬：JR旭川駅	8月中旬：稚内空港	5月中旬：道の駅「鯉番屋おびら」	7月中旬：名寄市よろーな	7月中旬：トヨタレンタカー札幌駅東店

これまでの応募作品数

ルート名	H26	H27	H28	H29	H30
	全応募作品数	全応募作品数	全応募作品数	全応募作品数	全応募作品数
大雪・富良野ルート	35	49	69	23	58
宗谷シーニックバイウェイ	38	49	95	40	35
萌える天北オロロンルート	44	51	43	29	31
天塩川シーニックバイウェイ	-	-	-	-	7
対象外	3	9	6	0	2
合計	117	149	213	92	133



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：北海道のサイクルツーリズム推進フォーラムの登壇

- 【概要】 「北海道のサイクルツーリズム推進に向けた検討委員会」が認定するモデルルート「きた北海道ルート」の実施主体として、サイクルツーリズムに係るルートの取り組みを報告した。
- 【日時】 平成30年5月29日（火）
- 【場所】 札幌市
- 【主催】 北海道開発局・北海道
- 【後援】 自転車活用推進本部、北海道商工会議所連合会



利尻島をサイクリング適地と設定し各種PR、及び商品開発を行ったことを報告した。

ブース展示では、「きた北海道ルート」での取り組み事例を紹介した（写真は全道交流会）。



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：一般国道40号稚内市の花植活動への協力

- 【概要】 稚内駅前・副港市場・稚内警察署前などの稚内市街地内の国道40号沿線の美化活動。  
【日時】 平成30年6月29日  
【場所】 稚内市  
【主催】 てっぺん「はなくらぶ」





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：宗谷の歴史文化資源の魅力を掘り起こす勉強会（継続）

- 【概要】 礼文島内にある「浜中2遺跡」が今後の観光資源としての活用可能性を探るため、宗谷の歴史文化資源としての潜在性を、みなさまと共有すると共に主に観光活用や地域振興を目的とした勉強会を開催した。
- 【日時】 平成30年8月3日（金）15：00～17：00
- 【場所】 稚内市
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議
- 【共催】 北海道大学アイヌ・先住民研究センター
- 【後援】 稚内市教育委員会・礼文町教育委員会

## 《登壇者と題目》

①永野正宏（国立アイヌ民族博物館設立準備室（文化庁文化財部伝統文化課））  
・国立アイヌ民族博物館の概要と道北の歴史文化について

②加藤博文（北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授）  
・海流の中の島での国際交流：何が海外の学生若手研究者を惹きつけるのか？

③Izumi Braddick（オックスフォード大学博士課程大学院生）  
・私の縄文オデッセイ：外国人学生による礼文島の発掘調査の経験と国際フィールドスクールの感想



勉強会の様子



過年度からの礼文島「浜中2遺跡」での遺跡視察に参加したハートランドフェリーは、稚内フェリーターミナルにて宗谷管内の縄文遺物のレプリカを展示し、利礼に渡る観光客に宗谷の歴史文化資源をPRしている。

# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：スイス・モビリティ財団ルーカス理事の視察受入

【概要】 過年度から天塩川SBWと連携しながら展開してきた「きた北海道エコ・モビリティ」のお手本としている「スイス・モビリティ」を運営する財団の理事を宗谷に招聘し、宗谷管内の地域資源を視察いただくことで、今後の「きた北海道エコ・モビリティ」への助言をいただく。

【視察期間】 平成30年8月18日～19日（宗谷SBW受入期間）

【視察行程】 1日目（18日）／利尻空港→鷺泊FT（観光案内所）→利尻利尻富士自転車道→沓形BT（サイクルバス）→利尻富士町・観光協会との意見交換会

2日目（19日）／キタカラ→樺太記念館→稚内港北防波堤ドーム→宗谷SBWとの意見交換→宗谷岬→BASE SOYA→宗谷丘陵→川島旅館（豊富）



ルーカス氏（Lukas Stadtherr）

スイス・モビリティの立ち上げ時から関わり、現在は、スイス・モビリティのプロジェクト管理者。



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：サイクリング・フォー・チャリティーの現地受入

- 【概要】 サイクリングを通して、子供達が抱えている社会と教育格差の認知度を上げ、スポンサーの寄付金を必要とする子供達に届けることを目的とした、「サイクリング・フォー・チャリティー」が宗谷管内を走行することから、現地での受入を行った。
- 【日程】 平成30年7月24日～31日（うち宗谷SBW受入は、7/28～7/30）
- 【場所】 稚内市・利尻島





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：利尻一周ふれあいサイクリングにおける石田・宮内先生の視察受入

【概要】 道路や自転車に関する有識者に、ちょうど30周年の節目であった「利尻一周ふれあいサイクリング」に参加いただき、利尻島のサイクル環境に触れていただくのみならず、宗谷管内の自転車受入環境もご視察いただき、ご助言をいただいた。

【視察期間】 平成30年8月25日～8月27日

【視察行程】 1日目（25日）／利尻一周ふれあいサイクリング前夜祭

2日目／利尻一周ふれあいサイクリング当日

3日目／宗谷岬・BASE SOYA（稚内観光協会運営）・稚内空港視察、稚内観光協会訪問



サイクリング出発前



土砂降りの中完走



宗谷岬視察



BASE SOYO視察



稚内空港視察



稚内観光協会訪問

# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：利尻島ファミリーサイクリング モニターの協力

【概要】 利尻島は新たな観光として、サイクルツーリズムを推進しており、今後は「家族（ファミリー）」を対象に、サイクリングを楽しんでいただける環境づくりを進めようとしている。家族で楽しむサイクリング観光について、現状の課題や観光としての可能性を調査するために、モニター調査の企画に協力した。

【応募期間】 平成30年9月16日

【主催】 利尻富士町

【協力】 宗谷シーニックバイウェイ運営代表者会議



## 《モニターからの意見》

- 自転車に乗るだけだと子供飽きるのではないかと思ったが、親と一緒に乗ることで、それ自体が楽しいと感じていたようだ。自転車に飽きた子はいなかった。
- モニター家族は、同じ年齢の子供も多く、お互いすぐに仲良くなっていた。全員が家族連れということもあり、子どもが走り回っても気兼ねなく、みんな楽しんでいたように思う。
- 体力や自転車の能力に応じて、具体的なモデルコースを示した方が良い。
- 子供は疲れたと言っていたが、変速機が無くても、大人と一緒に走っていた。お父さん：クロスバイク、お母さん：電動アシスト、子ども：子供用自転車の組み合わせがよさそう。
- サイクリングを利尻島で楽しむだけで、ひとつのコンテンツになる。

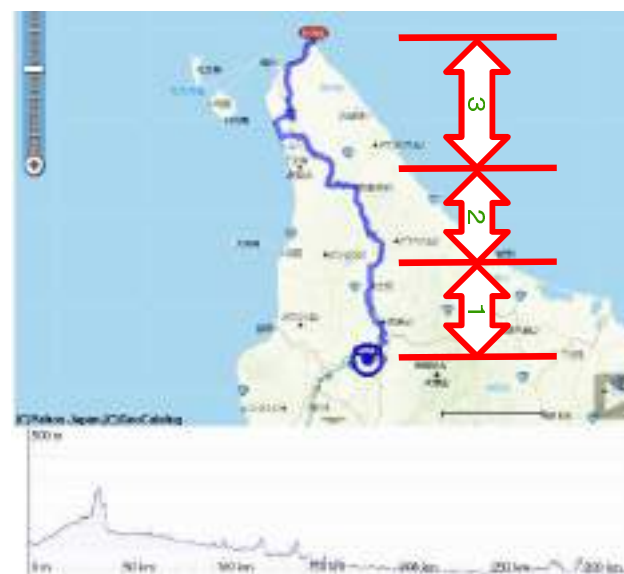


# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：TEPPEN-RIDE 2018（継続）

- 【概要】 3日間連続で、旭川から稚内まで総距離約330kmを、自分の自転車で走り切るサイクリングイベントを天塩川シーニックバイウェイと連携して実施した。
- 【実施期間】 平成30年9月22日～25日
- 【主催】 天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議・宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議
- 【共催】 シーニックバイウェイ支援センター
- 【ルート】 1日目／旭川駅→和寒町（塩狩峠）→剣淵町→士別市→名寄（泊）  
2日目／名寄駅→美深町→音威子府村→中川町（泊）  
3日目／中川町→幌延町→豊富町（抜海線）→稚内市→宗谷岬～完走祝賀会



TEPPEN-RIDE  
のルート

0.0km	93.7km	183.8km	326.2km
JR旭川駅	名寄市泊	中川町泊	宗谷岬

# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：R3モニターツアー

- 【概要】 3日間連続で、旭川から稚内まで総距離約330kmを、自転車・カヌー・列車（Road・River・Rail）といったさまざまなモビリティ（以下の※印）と地域資源に触れながら北上するモニターツアーを、天塩川シーニックバイウェイと連携して実施した。
- 【実施期間】 平成30年9月22日～25日
- 【主催】 天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議・宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議
- 【共催】 シーニックバイウェイ支援センター
- 【ルート】 1日目／旭川駅→和寒町（塩狩峠）→剣淵町→土別市→名寄（泊）※JR輪行  
2日目／名寄駅→美深町→音威子府村→中川町（泊）※カヌー・サイクルタクシー  
3日目／中川町→幌延町→豊富町（抜海線）→稚内市→宗谷岬～完走祝賀会 ※JR・電動アシストバイク



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：「しゃべり場」（観光案内所編・宿泊施設編）の開催

【概要】 宗谷地域で観光に関係する事業者の方が自由に意見交換を行う「しゃべり場」を開催。平成25年度から開催し、今年度は開催地別ではなくテーマ別にし、同業だからこそわかる日頃の悩みや今後の課題などを共有した。

【日時】 11月18日（11:00～13:30）                   しゃべり場   観光案内所編  
11月18日（14:30～終了時間未定）   しゃべり場   宿泊施設編

【場所】 稚内市

【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議

【参加者】

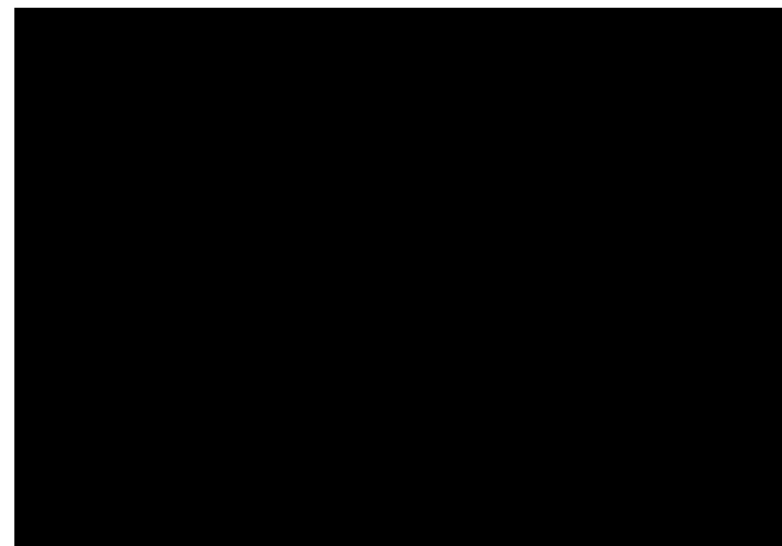
- ・観光案内所編 稚内観光協会/利尻町観光協会/利尻富士町観光協会/礼文島観光協会/豊富町観光協会/ハートランドフェリー/宗谷バス
- ・宿泊施設編 （稚内市）稚内グランドホテル/ホテル御園/ホテルめぐま/（利尻島）利尻マリンホテル/ホテルあや瀬/北国グランドホテル/（礼文島）ホテル花れぶん/（豊富町）ニュー温泉閣ホテル/稚内観光協会/利尻町観光協会/利尻富士町観光協会/礼文島観光協会/豊富町観光協会/ハートランドフェリー/宗谷バス/稚内信用金庫/車屋源氏



しゃべり場 観光案内所編



しゃべり場 宿泊施設編





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：風景街道大学の参加

- 【概要】 全国のシーニックバイウェイ関係者が一同に会する「風景街道大学」にて、宗谷SBWの活動を報告した。
- 【開催期間】 平成30年10月20日～21日 風景街道大学・しずおか校  
 平成31年1月10日～14日 風景街道大学・宮崎校（高千穂町DMO視察も含む）  
 平成31年3月15日 風景街道大学意見交換会



TEPEEN-RIDE開催の経緯や今後の宗谷のサイクルツーリズムの展望などを報告した。



全国の風景街道の関係者と交流を深めた。



全国の風景街道の関係者に宗谷路を紹介した。



DMOとして全国先進地である高千穂町DMOの視察を行った。





4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:稚内開発建設部	報告年月:2019/3/31
--------------------	-------------	----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
景観 宗谷の景観と環境を守り育てることで、他地域との差別化を図る	一般国道40号稚内市の花植活動	H30.6.29	てっぺん「はなくらぶ」	稚内駅前・副港市場・稚内警察署前などの稚内市街地内の国道40号沿線の美化活動が行われた。	宗谷らしい景観を守り・育てることを目的に、活動の広域化・さらなる継続化を目指して地域への支援等を検討していきたい。	SY-4	
	道北ルート連携フォトコンテスト	H30.7.2~H30.9.14	道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	大雪・富良野ルート、萌える天北オロロンルートとのルートを跨いだフォトコンテスト。今年度で天塩川ルートも加入した。5年目の開催。学生部門も新設された。		SY-2	
環境	クリーンキャンペーン リシリ	H30.5.18	利尻建設協会・運輸協会利尻トラック部会【協力協賛】利尻町・利尻町観光協会・利尻島ロータリークラブ・稚内建設管理部利尻出張所	利尻町一円の沿道と自然公園等の清掃(ゴミ拾い)を行った。町内の美化に貢献し、数年続いている活動であるが、今後も継続して取り組む予定である。			
情報	宗谷に関する情報をつなぎ、あたたかいおもてなしを提供する	ドライブ情報誌『MOCO』への掲載	H30.7	出光カードドライブ&レジャー情報誌『MOCO』	出光カード所有者のうち有償会員に向けて配布されるドライブ情報誌『MOCO』は日本各地の風景街道を毎月掲載していることから、その一環として掲載依頼を受けた。発行部数2万部。	同様の媒体に掲載されるため、継続的なPRを行っていきたい。	SY-5
観光	北海道のサイクルツーリズム推進フォーラムの登壇	H30.5.29	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	「北海道のサイクルツーリズム推進に向けた検討委員会」が認定するモデルルート「きた北海道ルート」の実施主体として、サイクルツーリズムに係るルートの取り組みを報告した。		SY-3	
	道北版スイス・モビリティ関連事業「利尻島での自転車・バスの周遊観光実験」	夏季	宗谷バス(株)	島内循環バスで自転車積込サービス(事前予約制)が本格的にスタートした。		SY-1	
	宗谷の歴史文化資源の魅力を掘り起こす勉強会	H30.8.3	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・北海道大学アイヌ・先住民研究センター	礼文島内にある「浜中2遺跡」が今後の観光資源としての活用可能性を探るため、現地での視察や発掘者からの説明、関係者による勉強会を開催した。		SY-6	
	スイス・モビリティ財団ルーカス理事の視察受入	H30.8.18~19	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	過年度から天塩川SBWと連携しながら展開してきた「きた北海道エコ・モビリティ」のお手本としている「スイス・モビリティ」を運営する財団の理事を宗谷に招聘し、宗谷管内の地域資源を視察いただくことで、今後の「きた北海道エコ・モビリティ」への助言をいただいた。		SY-7	
	サイクリング・フォー・チャリティーの現地受入	H30.7.24~31	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	全国的に活動をするサイクリングクラブに宗谷管内を走実いただくことで、宗谷管内のサイクリングの魅力をPRすることができた。		SY-8	

ルート(エリア)運営活動計画方針		平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
観光		利尻一周ふれあいサイクリングにおける石田・宮内先生の視察受入	H30.8.25~27	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	道路や自転車に関する有識者に、ちょうど30周年の節目であった「利尻一周ふれあいサイクリング」に参加いただき、利尻島のサイクル環境に触れていただくのみならず、宗谷管内の自転車受入環境もご視察いただき、ご助言をいただいた。		SY-9
		利尻島ファミリーサイクリング モニターの協力	H30.9.16	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	ファミリー層にも利尻島サイクリングを楽しんでいただける環境づくりを進めるための知見を得た。		SY-10
		TEPPEN-RIDE 2018(継続)	H30.9.22~25	天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議・宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	3日間連続で、旭川から稚内まで総距離約330kmを、自分の自転車で走り切るサイクルイベントを天塩川シーニックバイウェイと連携して実施した(3か年目)。		SY-11
		R3モニターツアー	H30.9.22~25	天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議・宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	3日間連続で、旭川から稚内まで総距離約330kmを、自転車・カーヌー・列車(Road・River・Rail)といったさまざまなモビリティ(以下の※印)と地域資源に触れながら北上するモニターツアーを、天塩川シーニックバイウェイと連携して実施した(初年度)。		SY-12
		「しゃべり場」(観光案内所編・宿泊施設編)の開催	H30.11.18	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	宗谷地域で観光に関係する事業者の方が自由に意見交換を行う「しゃべり場」を開催。平成25年度から開催し、今年度は開催地別ではなくテーマ別にし、同業だからこそのわかる日頃の悩みや今後の課題などを共有した。		SY-13
		風景街道大学の参加	H30.10.20~21 H31.1.10~14 H31.3.15	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	全国のシーニックバイウェイ関係者が一同に会する「風景街道大学」にて、宗谷SBWの活動を報告した。		SY-14
		WAKKANAI みなとコンサート	H30.7.14	稚内のみなとを考える女性ネットワーク	北海道遺産にも指定されている歴史的建造物「稚内港北防波堤ドーム」を地域活性化に活かすことを目的に、住民主体の音楽会を開催した。		
		かまくらで遊ぼう	H31.2.10	稚内のみなとを考える女性ネットワーク	冬のイベントとして、大きなかまくらを作成し、かまくらを中心に冬の遊びを楽しむイベントを開催した。当日は、多くの親子連れが参加し、厳冬の稚内を楽しんだ。		